

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	下田看護専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
医療専門課程	看護学科		74	9	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

申請に基づき開示

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	下田看護専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園 理事長 大屋敷 英志枝

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	病院 名誉院長	2016.6.24 ～ 2020.6.23	ガバナンス担当
非常勤	会計事務所 所長	2016.6.24 ～ 2020.6.23	コンプライアンス 担当
(備考) 理事のうち、学外者は3名。うち2名のみ上記に記載。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	下田看護専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学校が作成した到達目標および成績評価基準を、各科目の担当(教員および講師)に前年秋ごろ提示し、各科目の担当(教員および講師)がシラバスを2月頃作成。 作成されたシラバスを回収し、冊子とする。 4月入学した学生に配布。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生に冊子としたシラバスを配布 また、学生および保護者以外の場合は、申請に基づき開示</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第26条に基づいて単位を認定する 第26条 単位認定については、各学科目ごとに試験を行い、その結果により認定する。 2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の3分の1(実習は5分の1)を超える者は当該学科目の試験を受ける資格を喪失する。 3 単位認定は次の基準により行う。 1) 学科試験(実習は、実習評価)で、その得点が満点の60%以上のもの。 2) 前号により60%未満のものは、1回に限り再試験を受けることができる。 その再試験で、得点が満点の60%以上のもの。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

G P A算出について

素点	G P	単位の授与
90点以上	4	する
80点以上	3	する
70点以上	2	する
60点以上	1	する
再試験により合格	1	する
60点未満	0	しない

$$G P A = \frac{\sum_{\text{全科目}} (\text{科目} G P \times \text{単位数})}{\sum_{\text{全科目}} (\text{単位数})}$$

算出された数値の小数点第3位を四捨五入する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.shimodakango.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定会議を1月に実施し、学則第27条に基づいて卒業を認定する

第27条 学校長は本校所定の課程を修了したものに卒業を認定し、卒業証書を授与する。

2 卒業の認定は、所定の学科目を履修し、単位を取得したものについて行う。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://www.shimodakango.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	下田看護専門学校
設置者名	学校法人湘南ふれあい学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
収支計算書又は損益計算書	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
財産目録	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
事業報告書	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/
監事による監査報告（書）	http://www.fureai-g.ac.jp/html/breport/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3075時間/98単位 単位時間/単位	2010/74 単位時間 /単位		1035/23 単位時間 /単位		30/1 単位時間 /単位
			3075時間/98単位		単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		122人	人	9人	34人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校が作成した到達目標および成績評価基準を、各科目の担当（教員および講師）に前年秋ごろ提示し、各科目の担当（教員および講師）がシラバスを2月頃作成。作成されたシラバスを回収し、冊子とする。 4月入学した学生に配布。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第26条に基づいて単位を認定する 第26条 単位認定については、各学科目ごとに試験を行い、その結果により認定する。 2 各科目の欠席時間が出席すべき時間の3分の1（実習は5分の1）を超える者は当該学科目の試験を受ける資格を喪失する。 3 単位認定は次の基準により行う。 1) 学科試験（実習は、実習評価）で、その得点が満点の60%以上のもの。 2) 前号により60%未満のものは、1回に限り再試験を受けることができる。 その再試験で、得点が満点の60%以上のもの。

GPA算出について		
素点	GP	単位の授与
90点以上	4	する
80点以上	3	する
70点以上	2	する
60点以上	1	する
再試により合格	1	する
未履修(60点未満)	0	しない

$$GPA = \frac{\sum_{全科目} (\text{科目GP} \times \text{単位数})}{\sum_{全科目} (\text{単位数})}$$
 算出された数値の小数点第3位を四捨五入する

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定会議を1月に実施し、学則第27条に基づいて卒業を認定する 第27条 学校長は本校所定の課程を修了したものに卒業を認定し、卒業証書を授与する。 2 卒業の認定は、所定の学科目を履修し、単位を取得したものについて行う。
学修支援等
(概要) 毎週の確認テスト(前週の授業の理解度・把握度を測る) 国試対策基礎演習 個別面談 夏期補習(確認テスト成績不振者) 長期休暇の宿題

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100.0%)	0人 (0.0%)	32人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、就職説明会、就職希望調査、個別面談(希望者のみ) インターシップ案内、各病院の募集要項の展示			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118 人	4 人	3.4%
(中途退学の主な理由) 方向転換		
(中退防止・中退者支援のための取組) 補習、確認テスト等の学力支援 本人面談 保護者面談（3者面談を含む）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	100,000 円	600,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shimodakango.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>【目的】 自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性・透明性を高める。</p> <p>【体制】 生徒・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局、在学生など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。</p> <p>【実施方法】 年2回委員会実施</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する ホームページ掲載予定		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.shimodakango.ac.jp
--